

日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。11月25日（水）に中学年分科会で研究授業がありましたので、ご報告いたします。

## 3年生 「たった一言」 A 善悪の判断、自律、自由と責任



今回の学習を通して考え、深めたいこと

- 1 自分が正しいと思ったことを実行することの大切さ
- 2 正しいことを周囲に流されずに行おうとすることの難しさ

工夫したことと成果 ～指導と評価について～

- ① 自己の経験を振り返る際に、他の児童の意見を読むことを通して、多面的・多角的に本時の価値を捉え、自分のこれからの在り方について思いをもつ児童の姿が見られた。
- ② 主発問の際に、児童から出てきた意見を分類し、板書することが、登場人物の心情の多面的、多角的な理解につながった。
- ③ 座席表やワークシートを活用して評価をした。児童の発言を細かく評価することで、それぞれの課題を把握することができた。

今後の課題等について

- ① 児童の表情やつぶやき、うなずきなど細部まで観察して評価を行っていく必要がある。
- ② より多くの児童が本時の価値に迫れるよう、補助発問をするべきタイミングや内容を突き詰めていくべきである。

## 4年生 『「正直」50円分』 A 正直、誠実



今回の学習を通して考え、深めたいこと

- 1 正直に行動することの難しさ、迷い、葛藤
- 2 正直に行動した時、正直に誠実に生きようとする時のすがすがしさ

工夫したことと成果 ～指導と評価について～

- ① 主人公が葛藤する場面では、心情メーターを用いて一人一人が自分の気持ちを表すことにより、自分の考えを明らかにするとともに、多面的・多角的に、主人公が迷う心情を捉える児童の様子が見られた。
- ② 正直に行動した後の帰り道の場면을役割演技することにより、主人公のすっきりした気持ちに寄り添い、自分の行いを前向きに振り返る姿が見られた。
- ③ 個に応じた指導を行うとともに児童の考えやその変容を見取るため、チームティーチングを行った。その結果、児童の実態に合った指導や評価を行うことができた。また、事前アンケートや座席表に評価項目を示した評価シートを使って、具体的に児童の変容を見取ることができるようにした。

今後の課題等について

- ① 評価項目に対し主発問の箇所は適切であったか、心情メーターの用い方は妥当であったかを検証し、実践を重ねていく必要がある。
- ② より効果的なチームティーチングの実施の仕方や評価の方法を考えていく必要がある。